

平成24年度

事業報告書

第17期

自 平成24年 4月 1日

至 平成25年 3月31日



社会福祉法人 天祐会

千葉県千葉市中央区新町17番地12

目 次

社会福祉法人天祐会概要	2
各事業所別事業報告	
法人本部	4
大佐和苑	8
鋸南苑	12
富士見苑	15
天羽苑	19
竜神苑	26
広尾苑	28
請西苑	30
みらい保育園	34
広尾みらい保育園	38
木更津みらい学舎	40

1. 法人概要

法人名	社会福祉法人 天祐会
法人設立年月日	平成7年10月26日
代表者名	理事長 石岡 英明（平成23年4月1日～）
法人所在地	千葉県千葉市中央区新町17番地12
電話番号・FAX番号	電話：043-202-2727 FAX：043-202-2737
従業員総数	337名（平成25年3月31日現在）

2. 理念

天祐会は、「ご利用者第一」を発想の原点とし、「やさしさ」「おもいやり」「あたたかさ」を基本理念に、幼・老・障の共生を目指し、＜知識＞＜技術＞＜心＞のサービスが提供できるよう職員の資質向上に努める。

3. 沿革

- 平成7年10月 社会福祉法人天祐会 設立
- 平成9年4月 ケアハウス大佐和苑 開苑
大佐和苑デイサービスセンター 開苑
- 平成10年4月 大佐和苑在宅介護支援センター 開苑
- 平成11年4月 特別養護老人ホーム鋸南苑（従来型） 開苑
鋸南苑ショートステイ（従来併設型） 開苑
- 平成12年4月 大佐和苑在宅介護サービス 事業開始
鋸南苑デイサービスセンター 開苑
- 平成14年2月 大佐和苑訪問入浴 事業開始
- 9月 グループホーム富士見苑 開苑
富士見苑デイサービス 開苑
- 平成16年1月 鋸南苑ショートステイ 増築（ユニット型4名）
2月 特別養護老人ホーム鋸南苑 増築（ユニット型30名）
7月 グループホーム富士見苑 増築（9名から18名定員へ）
8月 グループホーム富士見の家 開苑
- 平成18年12月 グループホーム天羽苑 開苑
4月 みらい保育園 開園
- 平成20年4月 特別養護老人ホーム竜神苑 開苑
10月 小規模多機能ホーム竜神苑 開苑
- 平成22年2月 特別養護老人ホーム広尾苑 開苑
4月 広尾みらい保育園 開園
木更津みらい学舎 開園
- 平成23年4月 第2代理事長に石岡英明が就任
- 平成24年3月 請西苑デイサービスセンター、グループホーム請西苑 開苑

4. 事業内容

○第一種社会福祉事業

軽費老人ホーム大佐和苑の設置運営
特別養護老人ホーム鋸南苑の設置運営
特別養護老人ホーム竜神苑の設置運営
特別養護老人ホーム広尾苑の設置運営
特別養護老人ホーム請西苑の設置運営

○第二種社会福祉事業

老人デイサービス事業（大佐和苑）
老人短期入所事業（鋸南苑）
老人介護支援センター事業（大佐和苑）
老人デイサービス事業（鋸南苑）
老人居宅介護等事業（大佐和苑）
認知症対応型老人共同生活援助事業（富士見苑）
老人デイサービス事業（富士見苑）
障害福祉サービス事業（共同生活介護、富士見の家）
認知症対応型老人共同生活援助事業（天羽苑）
老人デイサービス事業（天羽苑）
保育所みらい保育園の設置運営
小規模多機能型居宅介護事業（竜神苑）
老人短期入所事業（広尾苑）
保育所広尾みらい保育園の設置運営
地域子育て支援拠点事業（広尾みらい保育園）
放課後児童健全育成事業（木更津みらい学舎）
認知症対応型老人共同生活援助事業（請西苑）
認知症対応型老人デイサービス事業（請西苑）

○公益を目的とする事業

居宅介護支援センターの事業（大佐和苑）

〔法人本部〕

1. 事業報告概要

今年度は、法人の管理体制を刷新・強化するため、人事関連規定の見直しを行い、大幅に改定した。人事労務面では、地域別に異なる給与とするための地域調整手当の導入などを行った。施設長などの幹部の異動を行うと同時に、職員の士気向上を図る為の研修等を行った。

新規事業については、木更津市の地域密着型事業である木更津市請西苑にて密着型特別養護老人ホームを9月に開苑した。また、千葉市に対してプロポーザルをしていた児童養護施設「千葉みらい響の杜学園」が、平成26年度に事業を開始することが決定した。

天羽苑に併設されていたケアホーム富士見の家は、利用者の高齢化が進んだことからサービス付き高齢者向け住宅への事業転換を図った。

2. 実施状況

①新規案件

平成24年9月 特別養護老人ホーム（請西苑）

②理事会及び評議員会開催状況

日時	議会名	定足数 (理事) (評議員) (監事)	議題
5月20日	第一回 定例役員会	10/10 17/21 2/2	① 平成23年度 理事長専決事項報告 ② 平成23年度 事業報告 ③ 平成23年度 決算報告 ④ 経理規程変更案 ⑤ みらい保育園テント改修工事報告 ⑥ 特別養護老人ホーム請西苑新築工事進捗 ⑦ 千葉市児童養護施設「(仮称) 千葉みらい響の杜学園」事業 ⑧ 本部移転
7月14日	第二回 定例役員会	10/10 19/21 1/2	① 本部移転 ② 定款変更 本部移転（主たる事務所の変更） ③ 定款変更 請西苑（基本財産の追加） ④ 富士見苑 事業追加 ⑤ 定款変更 サービス付き高齢者向け住宅（公益事業の追加） ⑥ 横浜市立保育所民間移管公募 ⑦ 千葉市児童養護施設進捗報告と整備事業予算計画

9月16日	第三回 定例役員会	10/10 17/21 2/2	⑧ 経理規程変更 ① 平成24年度 第一次補正予算案 ② 指導監査結果報告 ③ 公募結果報告 ④ 鋸南苑改修工事入札業者の選定 ⑤ 富士見苑改修工事入札業者の選定 ⑥ (仮称) 千葉みらい響の杜学園 設計監理契約 ⑦ 請西苑 基本財産追加 修正報告 ⑧ 請西苑 定款変更 修正報告 ⑨ 特別養護老人ホーム請西苑 工期変更 ⑩ 特別養護老人ホーム請西苑 開苑報告
11月18日	第四回 定例役員会	9/10 15/21 2/2	① 富士見苑 サービス付き高齢者向け住宅 計画中止 ② 天羽苑 富士見の家(知的障害者共同生活介護) 事業廃止 ③ 天羽苑 サービス付き高齢者向け住宅 事業追加 ④ 天羽苑 改修工事 ⑤ 天羽苑 改修工事入札業者の選定 ⑥ ベビーステーション幕張 利用者救済への協力 ⑦ 東京都中野区立保育所 民間移管公募 ⑧ 千葉市寒川保育所 民間移管公募 ⑨ 千葉市児童養護施設 住民等説明会報告と今後の予定
3月16日	第五回 定例役員会	9/10 16/21 2/2	① 平成24年度第二次補正予算案 ② 平成25年度事業計画案 ③ 平成25年度当初予算案 ④ 就業規則等諸規程変更案 ⑤ 運営規程等変更案 ⑥ 重要事項説明書変更案 ⑦ 天羽苑 サービス付き高齢者向け住宅 敷金設定 ⑧ 木村会計事務所 契約報告 ⑨ 理事長定期保険加入 ⑩ 第9期役員改選

③施設長人事

役職名	氏名	就任期間
請西苑 施設長	大日向 百樹	平成24年9月1日 ~ 現在

④法人内会議の実施状況

実施年月日	主たる議題
4月10日	① 役員会報告資料について(決算・事業報告) ② 平成24年度上半期 人事考課及び賞与支給の流れ

	<ul style="list-style-type: none"> ③ 給与データについて ④ 稟議制度の運用開始
5月8日	<ul style="list-style-type: none"> ① 各種進捗状況（平成23年度決算・平成23年度事業報告・平成23年度決算及び事業報告の説明方法・平成24年度上期賞与） ② 経理規程変更 ③ 内部経理監査 平成24年度担当 ④ 給与規程の解釈
6月12日	<ul style="list-style-type: none"> ① 日本財団福祉車両申込み ② 書籍『介護報酬の解釈』発刊 ③ 平成24年度 指導監査（予定） ④ 健康診断（検診車） ⑤ 特別養護老人ホーム請西苑竣工式 ⑥ 稟議書制度の目的と作成方法
8月10日	<ul style="list-style-type: none"> ① 第一次補正予算 ② GroupSession 各書類揭示 ③ サービス付き高齢者向け住宅 開設計画 ④ 特別養護老人ホーム請西苑 開設
9月11日	<ul style="list-style-type: none"> ① 9月月次会計監査時のお願い ② 入居者健康診断項目の見直し
10月9日	<ul style="list-style-type: none"> ① 平成24年度下期スケジュール 平成24年度年末調整・平成25年年賀葉書の手配・平成24年度下半期人事考課及び賞与支給の流れ・平成24年度第二次補正予算 及び 平成25年度当初予算・平成25年度事業計画・その他年度末業務 ② 書籍『社会保険・労働保険の届出と手続き』の配布 ③ 「資格取得等のための費用立替金」書式変更 ④ 職員健康診断（検診車）ご案内
11月20日	<ul style="list-style-type: none"> ① 各作業進捗確認 平成24年度年末調整・平成25年年賀葉書配布・平成24年度下半期人事考課結果報告 ② 年末年始調整手当 ③ 入居者健康診断書 書式 ④ キャンセル料の設定 ⑤ 役員会報告
12月10日	<ul style="list-style-type: none"> ① 勘定科目の確認 課税売上対象の科目統一・収入科目の確認 ② 親睦会費対象者の確認 ③ 研修時の勤務の取り扱い
1月15日	<ul style="list-style-type: none"> ① 平成24年度第二次補正予算 ② 平成25年度当初予算

	<ul style="list-style-type: none"> ③ 平成 25 年度事業計画 ④ 法定調書の書き方
2 月 13 日	<ul style="list-style-type: none"> ① 今後の予定 ② キャンセル料の設定 [確認] ③ AED バッテリ期限切れに伴う発注 ④ 10 年勤続者表彰 ⑤ 平成 25 年度採用新卒者辞令交付式 ⑥ 連絡表(入退職者等確認用)等入職情報の提出 ⑦ 運営規程の変更
3 月 13 日	<ul style="list-style-type: none"> ① 就業規則等諸規程変更案 ② 36 協定届及び就業規則変更届労基署届出 他 ③ 平成 25 年度健康診断 (健診車) ④ 固定資産移行仕訳等入力のお知らせ ⑤ 平成 24 年度施設長会議議事進行・議事録作成 及び 墓参り当番

<ケアハウス大佐和苑>

1.事業報告概要

24年度前半は、入居者の入れ代りが多く見られたが、後半では年齢層の若い方々の入居により安定した。空室はあるが、待機者がおり、入居までに日数がかかっているものであるが、しかし二人部屋の入居希望者の確保が難しい状況である。

又昨年度は、天候不良により、行事計画が予定通り実施出来ない事が多かった。室内活動として、毎週開催している余暇活動・体づくりに力を入れ、リハビリを兼ねたレクリエーションの機会を設けた。新入居者の方々も含め、コミュニケーションの場として多くの入居者の方々に参加していただいた。

2.実施状況

①サービス内容

○生活指導

- ・趣味活動の充実
- ・地域の方々とのふれあいの場を多く持てるよう、各種行事を実施した。

○栄養

- ・苑の菜園で収穫した新鮮な野菜を食卓に。
- ・地元の協力を得て、地場の魚・野菜を積極的に取り入れた。
- ・入居者の年齢・身体状況・嗜好についても配慮した。
- ・行事食や選択メニューを実施した。

○健康管理

- ・入居者及び職員の定期的な健康診断の実施、提携病院との連携を密にし、健康管理を十分にを行った。

②年間行事

4月13日	お花見	10月21日	日月神社祭礼見物
5月5日	菖蒲湯	11月8日	柿もぎ
6月17日	青空食事会	11月21日	干し柿作り
7月29日	納涼祭	12月20日	佐貫保育園
8月23日	納涼祭ビデオ鑑賞会	12月21日	柚子湯
9月8日	佐貫中体育祭	1月1日	初詣、新年会
9月15日	佐貫小運動会	2月3日	節分
9月17日	マザー牧場バスハイク	3月3日	ひな祭り
9月19日	敬老会	3月19日	いちご狩り
10月7日	道の駅バスハイク		

③防災訓練（年3回実施、うち1回消防署立会い）

- ・自主訓練 6月29日、11月25日
- ・消防署立会 2月26日

④職員研修

- 4月 2日 法人理念・施設方針教育・新入職員の教育方針について
- 5月 2日 認知症対応について
- 6月 1日 消防訓練・相談（苦情）対応について
- 7月 9日 食中毒対応について
- 8月17日 緊急時（災害・事故）対応について
- 9月12日 プライバシー保護について
- 10月 5日 感染症対応について
- 11月 7日 防災訓練について
- 12月 1日 介護技術について
- 1月23日 消防訓練について
身体拘束廃止について
- 3月20日 事故防止対応について

<大佐和苑デイサービスセンター>

1. 事業報告概要

今年度の目標であった、フロアーの改革として、利用者様と一緒に折り紙、ちぎり絵、工作等で装飾し季節ごと、月ごとに雰囲気を変え喜んで頂き、次回利用を楽しみにしていただくことが出来た。職員研修にも力を入れ介護力も強化できたが、稼働率は思ったように上昇出来なかった。

2. 実施状況

①サービスの内容

○居宅サービス計画を基本としたサービス提供

- ・入浴サービス
- ・健康チェック
- ・給食サービス
- ・レクリエーション活動
- ・機能訓練指導
- ・送迎サービス

○利用者の意向を尊重したサービス提供

- ・希望利用時間への対応
- ・介護事故防止のための検討と対応

○通所介護計画の作成

②年間行事

4月	お花見ドライブ	10月	ミニ運動会
5月	菖蒲湯	11月	紅葉ロード
6月	紫陽花見ドライブ	12月	クリスマス会、ゆず湯
7月	七夕会	1月	初詣
8月	ミニ納涼祭	2月	節分会
9月	敬老会	3月	ひな祭り・桜見ドライブ

③地域交流

7月	納涼祭
12月	保育所との交流会

④防災訓練(年3回実施、うち1回消防署立会い)

ケアハウスと準じる

⑤職員状況

- ・管理者 1名(兼務)
- ・生活相談員 2名
- ・介護員 6名(常勤2 非常勤4)
- ・看護職員 2名(非常勤2)

<大佐和苑在宅介護支援センター>

1.実施状況

①処遇実績

○地域包括支援センター（富津市委託）

- ・地域の要援護高齢者等の心身状況又はその家族等の状況の実態を把握するとともに、介護ニーズ等の評価等を行う。

○居宅介護支援事業者

- ・ケアプランの作成、介護認定調査の実施。

②職員状況

- ・管理者 1名（兼務）
- ・介護支援専門員 5名（専任1兼務4）

○定員は介護支援専門員1名に対して介護給付35名、予防給付8名を上限とする。

<大佐和苑在宅介護サービス>

1.実施状況

①処遇実績

○居宅サービス計画（ケアプラン）を基本としたサービス提供。

- ・身体の介護に関すること。
- ・生活の介護に関すること。

○利用者の意向を尊重したサービス提供。

- ・希望時間への対応。
- ・介護保険法に基づく適切なサービス内容の提供。

○通所介護等、他の介護保険サービス事業との連携。

○かかりつけ医等、医療事業者との連携。

○訪問介護計画の作成。

②職員状況

- ・管理者 1名（兼務）
- ・提供責任者 1名
- ・訪問介護員 5名（専任2兼務3）

＜特別養護老人ホーム鋸南苑・鋸南苑短期入所生活介護＞

1.事業報告概要

○特別養護老人ホーム部門

今年度は改修工事も入り、満床に出来なかった為稼働率が少し落ちてしまった。新規の入居者を確保し常に満床にして100%をキープしていきたいと思っています。職員も増やして少しゆとりが出て来ているので、介護の質の向上を目指していきたいと思う。

○ショートステイ部門

定期利用者の定着に伴い、新規利用者にも力を入れて、徐々に新規の利用者が定期利用者に変わってきました。利用者本人の状況ではなくご家族の都合と言うケースが多かった。達成率は57%でした。今後もサービスの向上を維持出来る様に考えていきたいと思っている。定期利用者の施設入所・死亡に伴い、稼働率が低下した。

2.実施状況（特老・ショート共通）

①年間行事

4月	お花見ドライブ	10月	紅葉ドライブ
5月	保田小学校運動会見学	11月	おやつ作り
6月	あじさいドライブ・鋸南町社協老人クラブ施設見学	12月	クリスマス会
7月	七夕祭り・納涼祭	1月	初詣・水仙ドライブ
8月	カラオケ大会・おやつ作り	2月	節分
9月	保田祭礼・敬老会	3月	ひな祭

②消防訓練

7月12日	通報訓練・避難訓練
11月25日	通報訓練・避難訓練（夜間想定）
2月10日	防火管理者講習会
3月20日	避難訓練

③職員研修

○施設内研修

4月	経管栄養と吸引について
5月	介護のプロとしての心構え
6月	自分が入ってみたい施設ってどんな？グループワーク
7月	心臓マッサージとAEDの取り扱いについて
8月	熱中症について
9月	認知症のケアとは・・・

- 10月 ヒヤリハットと事故報告書について
- 11月 身体拘束と高齢者虐待について
- 12月 インフルエンザとノロウイルスの予防と実践について
- 1月 報告・連絡・相談の連携について
- 3月 新人職員の研修について

○施設外研修

- 6月21日 リーダー養成研修（竜神苑）介護 2名
- 8月29日 介護保険サービス事業者連絡会議 1名
- 9月19日 看護担当者研修の巡回（副理事長・新藤）
- 10月17日 一般新人研修 2名

④職員状況

- ・施設長 1名 ・相談員 1名 ・介護支援専門員 2名 ・看護師 3名 ・栄養士 2名
- ・調理員 8名 ・事務長 1名 ・事務員 1名 ・用務員 3名 ・介護員 43名（パート含む）
- ・デイサービス 6名（パート含む） 計 68名

<鋸南苑デイサービスセンター>

1.事業報告概要

リフト車が1台増えた為送迎に、余裕が出来た。

在宅酸素の方が2名程利用されていて大変な時もあった。

食後、横になる利用者が増えてベッドも増加した。

ベランダで家庭菜園をやり季節ごとの野菜を収穫してお昼にご利用者と一緒に調理して食べたりして喜んで頂いた。全体的にゆとりが出来た1年だった。利用者からも、好評を得ている。

利用者も毎日12~18名をキープする事が出来た。週2回の休みの為稼働率は54%だが今後頑張って稼働率を上げて行きたいと思っている。

2.実施状況

①年間行事

4月	お花見ドライブ・おやつ作り ボランティア三味線	10月	ミニ運動会・おやつ作り 踊り（ボランティア）
5月	しょうぶ湯・おやつ作り	11月	焼き芋フェスティバル・紅葉ドライブ
6月	あじさいドライブ・おやつ作り	12月	飾り巻き寿司作り・ゆず湯・Xマス会
7月	夏祭り・白鳩保育園 美鈴会（ボランティア）	1月	どんど焼き・豚汁作り・おしるこ作り 水仙ドライブ
8月	すいか割り・おやつ作り	2月	豆まき・おやつ作り
9月	おやつ作り	3月	ひな祭・桜ドライブ

※消防訓練・研修に関しては特老と共通

〔富士見苑〕

＜グループホーム富士見苑＞

1. 事業報告概要

平成 24 年度に検討しておりました（サービス付き高齢者向け住宅）については、事前協議の結果、個室面積や改修工事内容を勘案し、実施しない事となりました。同業の他法人の新設もあり、年度後半から退去及び利用終了で、欠員が生じる状況になっておりますが、病院や他施設ケアマネ、市役所などの協力により、回復傾向にあります。

2. 実施状況

①基本理念

- 利用者が安心して「普通の暮らし」を送れる家庭的な生活環境を提供する。
- 共同生活を通じて利用者の残存機能の活用を促す。
- 職員は「知識・技術・心」の向上を図り、利用者の暮らしを守り支援する。
- 家族との信頼関係の強化と維持に努める。
- 医療及び行政との連携を強化する。
- 地域と共にある施設、地域にねざした施設とする。
- 施設の運営に関し、法令を順守し、虐待防止や身体拘束及び類似行為を防ぐ。
- 情報開示に努め、開かれた施設運営を行う。

②事業内容

- 認知症高齢者グループホーム介護計画の作成
- 相談・援助業務
- 食事サービス
- 入浴サービス
- 排泄介助、整容その他日常生活の世話
- 機能低下予防訓練
- 健康管理
- 余暇支援、通院介助、買い物介助、その他支援
- 利用者に対して計画的にアクティビティを実施
- 口腔ケアの実施

③職員配置

2 ユニット 統括管理者苑長	常勤	1 名	
管理者・計画作成担当者	常勤	1 名	
管理者・計画作成担当者	常勤	1 名	〔介護支援専門員〕
介護職員	常勤	8 名	非常勤 4 名

④年度目標の達成状況

○施設内研修

外部研修修了者によるミニ研修、職員講師による研修等で職員のスキルアップに繋がりました。

○生きがい支援

音楽療法への試み・リハレク等利用者の生き甲斐助長が実践できました。

⑤防災訓練

防火訓練 {消火・通報。避難} 年2回以上実施。

夜間想定避難訓練 役割分担に応じ実施。

防火設備取り扱い訓練 防火管理者による説明・指導

災害時想定・緊急対応訓練 防火管理者による説明・指導

⑥施設内研修

24年4月	認知症高齢者の心理と行動について
24年5月	ケアプランとケアマネジメント
24年6月	介護の心構え
24年7月	熱中症について
24年8月	高齢者の記憶について
24年9月	最新の認知症治療について
24年10月	排便と排尿について
24年11月	寄り添う介護について
24年12月	津波災害時の対応について
25年1月	漢方医学と認知症対応
25年2月	介護職員評価レベルについて
25年3月	オレンジプランについて

⑦おわりに

24年度の実績を念頭に、平成25年度も職員の「知識・技術・心」のサービスで、「安心・安全・穏やか」をモットーに、利用者・家族・地域に愛されるグループホーム運営を目指してまいります。

<富士見苑デイサービス>

1. 事業報告概要

24年度は第3～第4四半期の亡くなった方の利用終了や、第4四半期の利用者の長期入院等及び本人都合による利用中止や短期入所施設への利用増加により延べ利用人員が減少する状況が続きました。恒常的対策としては在宅支援事業所や富津市との営業を強化するべく、既存の在宅支援事業所と新規関係事業所を含めて、毎月の利用者の状況報告や「富士見苑デイサービス新聞」による広報活動を行う事により更なる安定した運営を目指しましたが利用者増にはいたりませんでした。日常的なサービス内容としては事故やクレームもなく、職員のひとりひとりが利用者に対して‘きめの細かい’利用者寄り添った安全で安心できるお世話が出来ました。

2. 実施状況

①基本理念

- 介護保険法に則した通所介護事業者としての責務を果たす。
- 「利用者が通所日を待ち望むサービス提供」を目的とし、職員の介護技術の向上と全人的な成長を支援する。
- サービスの質の管理、安全・衛生管理を徹底し、家族が安心して高齢者を託せる環境づくりを目指す。
- 地域の医療・福祉機関とのコミュニケーションを通じて、地域に求められる事業者を目指す。

②運営方針

○事業内容

介護度が要支援1～2・要介護1～5を対象とする、小規模型通所介護事業
介護保険指定事業のサービス

○利用者定員及び営業日

1日最大利用人数 18名、月曜日から金曜日(祝祭日含む)

○サービスの個別化方策

食事内容：利用者の状況に応じて、各種食事内容を提供。また主治医の指示に応じて治療食の対応もする。

入浴内容：身体状況に応じて、一般浴・機械浴での入浴。また当日の体調に応じて清拭等の実施。

○サービスメニュー

健康チェック：顔色を視診し、挨拶の声や動作で日頃の様子と比べる。体温・血圧・脈拍のチェック。

入浴：健康チェックで異常がなく、希望する人は入浴できる。デイサービス専用の浴場で男女別に入浴。

食事と食後の休憩：デイサービスの食事を配膳する。食欲と健康状態の観察。休憩のときは横になりたい人のために人数分の寝具を用意し休憩して頂く。

健康体操：プログラム活動の前に必ず健康体操を行う。

プログラム活動：運動とレクの内容的なもの・手芸工作・習字・リハビリ訓練などを実施。

送迎 : 挨拶・声・顔色・動作から健康状態を観察しながら行う。

③人員

統括管理者	1名
管理者	1名
生活相談員	1名(管理者兼務)
看護職員	1名
機能訓練指導員	1名(看護師兼務)
介護専従職員	2名(常勤2)

④年間行事

月	行 事	月	行 事
4月	お花見	10月	運動会
5月	菖蒲見学ドライブ	11月	紅葉狩り
6月	紫陽花見学ドライブ	12月	クリスマス会・餅つき
7月	七夕会	1月	書初め・初詣
8月	夏祭り会	2月	節分
9月	敬老会・ぶどう狩り	3月	雛祭り

その他：5月に菖蒲湯、12月に柚子湯等

9月（昼間想定）、3月（夜間想定）に防災避難訓練を実施した。

<グループホーム天羽苑>

1.事業報告概要

平成 24 年度は、居室が長期開くことはなく退所されると入所がありで入居率も安定していた。前年度までは重度の利用者も多かったが、比較的GH向きの利用者レベルになってきている。前年度までは救急車の要請回数も多かったが、利用者の病状も安定しており夜間も特に事故や問題等はないとの報告を毎日受けている。利用者の栄養面、健康管理も維持できており事故もなかった。

2.実施状況

①基本理念

- 1・利用者個人の尊厳を重んじるとともに、介護保険制度の目的である自立へ向けて支援を行う。
- 2・共同生活を通じて、利用者の残存機能を維持する。
- 3・利用者に心の安らぎを与えられるよう、サービスの質の向上を目指し、職員の介護技術の向上を図る。
- 4・医療との連携を強化する。
- 5・地域や家族との交流を図り、地域と密着した運営を目指す。
- 6・虐待防止の責務及び身体拘束禁止に努める。
- 7・「謙虚な心」「感謝の心」「素直な心」「奉仕の心」「反省する心」を常に持ち、利用者や家族来苑者に接することを心がける。

②営業方針

1・事業内容

- ① 少人数の家庭的な環境の中で、共同生活を営み、各個人の生活やこれまでの生活のリズムを継続し、個人の尊厳を重視した生活が送れるよう支援する。
- ② 介護計画の作成
- ③ 利用者や家族の相談や援助業務
- ④ 食事、入浴サービス
- ⑤ 日常生活の支援（排泄介助、食事介助、入浴介助、掃除、洗濯、整容、炊事等）
- ⑥ 身体機能訓練、健康管理
- ⑦ 余暇支援、買い物支援その他
- ⑧ 地域推進運営会議の実施

2・職員配置

- | | |
|----------|--------------------|
| ○管理者 | 常勤 1 名（兼務） |
| ○計画作成担当者 | 常勤 1 名（介護支援専門員・兼務） |
| ○介護職員 | 常勤 4 名、非常勤 3 名 |

3・防災訓練報告

平成 24 年 7 月 10 日・・・火災を想定した消防訓練を実施

4・年間行事

4月	出前の日（はなむら）	10月	小運動会
5月	こいのぼり見学（市民の森） アイリス見学（売津公園）		おやつ外食（金谷ガスト）
6月	外食会（君津・とんでん）	11月	紅葉見学（志駒）
7月	七夕会（みなと幼稚園との交流）	12月	クリスマス会
		1月	初詣（東京湾観音）、 水仙見学（佐久間ダム）
8月	そうめん流し、ミニ花火大会	2月	節分、芋煮会
9月	敬老会、ぶどう狩り（JAきみつ）	3月	お花見（佐久間ダム） ひなまつり会

* その他誕生会（利用者誕生月）、ドライブ

5・定時行事

- ① 全体会議
- ② 各部署内会議
- ③ 職員健康診断
- ④ 防災訓練
- ⑤ 地域推進運営会議
- ⑥ 勉強会
- ⑦ 芋煮会

6・利用料金

○保証金（入居一時金）300,000円

○月額料金（認知型共同生活介護費、予防介護認知症対応型共同生活介護費）

要支援2・	1日あたり負担額	831円	1ヶ月（30日の場合）	24,930円
要介護1・		831円		24,930円
要介護2・		848円		25,440円
要介護3・		865円		25,950円
要介護4・		882円		26,460円
要介護5・		900円		27,000円

* 共通加算/日・・・初期加算 30円/日

○管理費 家賃 40,000円/月

食費 1,700円/日（朝食、昼食、夕食とも500円、おやつ200円）

水道光熱費 15,000円/月

<天羽苑デイサービス>

1.事業報告概要

24年4月より25年3月末迄の一年間で総利用人数は2440名で、月平均203.3名、一日約9.4名の利用でした。今年度は、持病の悪化等でお亡くなりになられた利用者様が3名。ご家庭の都合で介護施設へ入所された方が5名。風邪から体調不良や骨折等で入院となり利用が中止となってしまうケースが2件ありました。また今年は例年にない降雪もあり約半数の利用者様が山間部への送迎とあってやむなく利用を中止とさせて頂いた事例も数回ありました。その為10月より毎月一回（月初め）に【天羽苑デイサービス通信】の発行を開始しその通信の中で看護師と相談して今の天羽苑で気をつけて欲しい事（脱水・インフルエンザ・ヒートショック等）を掲載して利用者様に注意喚起しています。冬季の利用者様の利用減は例年の傾向になりつつありますが今後の課題でもあります。

ここ数年デイサービスが近隣に多くなってきた事もあり、利用者様ご本人もそうですが多くある情報の中から良い情報を抜粋して伝えて下さるご家族様にも選んで頂ける様に他施設との差別化を図り『天羽苑デイサービス』としての特色を持たせるようにしていく事が最重要課題だと思います。その為、施設内の整理・整頓及び清潔の徹底はもちろんですが、利用者様の立場・目線に心がけ管理者はじめ職員全員が利用者様を一番に考えて努め、多く触れあう事で小規模通所介護を最大限楽しんで頂く様に取り組みたいと考えます。

2.実施状況

①基本理念

- 介護保険法に則した通所介護事業者としての責務を果たす。
- 「安全」「安心」「地域密着」を目的とし、「ご利用者第一」と「心のサービス」を目指す。
- サービスの質の管理、安全、衛生管理を徹底し、家族が安心して高齢者を託せる環境作りを目指す。
- 地域の医療・福祉機関とのコミュニケーションを通じて、地域に密着したサービスに求められる事業者を目指す。

②営業方針

1・事業内容

- 介護度が要介護1～5を対象とする小規模型通所介護事業
- 介護度が要支援1～2を対象とする介護予防通所事業
- 介護保険指定事業サービス
- 入浴サービス、食事提供サービス、健康チェック、機能訓練等

2・利用者の定員及び営業日

- 1日最大利用人数 月、水、金・・・15名
火、木・・・・・・10名
- 月曜日～金曜日（祝祭日を含む）

3・サービス内容

- 健康チェック

利用者の顔色や身体の様子を常に日頃と比べて観察し、体温・血圧・脈拍のチェックをする。連絡帳により、家族と苑の連絡を密にする。

○ 食事内容

利用者の食事内容は、状況に応じて提供する。また、主治医の指示に応じる。

苑内の菜園収穫された野菜なども食材に取り入れ提供する。

食事配膳をし、食事の摂取量、食欲状態等を観察する。また利用者の状態により、食事介助も行う。食後は休みたい方の為に、寝具やベッドを用意し休んでいただく。

○ 健康体操

食事前に食膳体操を行い、午後はレクが始まる前に健康体操を行う。その際、必ず利用者の健康状態を観察し、無理な体操は行わない。

○ プログラム活動

手芸工作、リハビリ訓練、軽い運動、カラオケなどで楽しんでいただく。

○ 送迎

利用者の顔色や行動等から健康状態を把握しながら行う。体調不良が見られる場合には、家族と相談し利用者に負担をかけない。

車の昇降時は事故の危険性がある為、細心の注意をする。

4・防災報告

- ① 防火訓練（消火、通報、避難）
- ② 地震・災害対策（非難、連絡等）
- ③ 防災設備関係の取り扱い
- ④ 防災教育（緊急時、救急対応）

5・人員配置

- 管理者 1名（兼務）
- 生活相談員 1名（兼務）
- 看護職員 1名
- 機能訓練指導員（看護師と兼務） 1名
- 介護職員 常勤職員 2名 非常勤職員 2名

6・年間行事

4月	ドライブ（お花見）	10月	運動会
5月	こいのぼり見学	11月	ドライブ（紅葉見学）
6月	ドライブ（あじさい見学）	12月	クリスマス会、
7月	七夕会	1月	初詣
8月	そうめん流し	2月	外食会、節分
9月	敬老会 ぶどう狩り	3月	ひなまつり会

7・定時行事

- ① 全体会議
- ② 各部署会議
- ③ 職員健康診断（年1回）
- ④ 防災訓練
- ⑤ 職員研修

8・利用料金

1) 通所介護（1日あたりの自己負担金）

要介護 1・・・700 円

要介護 4・・・1,074 円

要介護 2・・・825 円

要介護 5・・・1,199 円

要介護 3・・・950 円

2) 介護予防通所介護（1ヶ月あたりの自己負担金）

要支援 1・・・2,099 円

要支援 2・・・4,205 円

3) 介護保険の対象にならないサービス

食事の提供に要する費用・・・500 円（1食あたり）＊おやつ代を含みます。

（食材料費＋調理相当分）

オムツ代・・・リハビリパンツ（1枚 75 円）

紙オムツ（1枚 75 円）

パット小・中（1枚 15 円）

パット大（1枚 35 円）

通常の利用時間を超える費用（時間延長・・・1時間あたり 1,000 円）

サービス対象地域以外にお住まいの方の交通費・・・事業所から片道 20km 未満
(500 円)

事業所から片道 20km 以上
(1,000 円)

その他日常生活に要する費用・・・費用徴収が適当と認められるもの

<富士見の家>

1.事業報告概要

富士見の家は6月～10月の間に入居者6名全員退所されました。2名は介護老人施設、4名は他の障害者ケアホームへ異動されました。1名の方は富士見の家を退所後、約1週間でくも膜下出血でお亡くなりになりました。24年度は入居者の高齢・介護の必要・精神科への入院等で職員も大変苦勞し、次の施設探しや家族・施設との連絡調整等に追われた年でした。ご家族からは次の行き場を失うことがなかったので、感謝をされました。改めて老人介護とは違う障害者の高齢化による介護の難しさを経験いたしました。

2.実施状況

①基本理念

- 知的障害者が、安心して自分らしい自立した生活を営む事が出来るような生活環境を提供する
- 地域の中で共同生活を通じて、本人の生活能力の向上と、社会的自立の促進が図れるように支援する。
- 福祉関係機関の連携を強化する。
- スタッフは知的障害者に関する理解を深めると共に、知識・支援技術の向上を図るように努める。
- 地域に溶け込んだ施設、地域との交流を図る施設とする。

②営業方針

1・業務内容

自立した生活を求めている知的障害者、あるいは何らかの理由で家庭での生活が困難になった知的障害者に対して、居室を提供し、日常生活及び社会適応に必要な援助を行い、自立した生活の確保と社会参加の促進を図る事が出来るようにすることを目的としている。

<特徴>

関係する市町村の保健・医療・福祉サービスとの密接な連携を図り、総合的なサービスの提供を行う。

2・サービス内容

利用者の状態・能力の把握等を行い、支援目的を定めると共に以下のような日常生活に必要なサービスを提供する。

- 食事の提供
- 生活等に関する相談・支援
- 余暇活動の支援
- 健康管理・金銭管理の援助
- 利用者の緊急時の対応
- 職場との連絡・調整
- 財産管理等の日常生活に必要な援助
- 食事や入浴・排泄の介護

○ その他

3・防災訓練報告

平成 24 年 7 月 20 日・・・火災を想定した消防訓練を実施

4・職員配置

- 管理者・サービス管理責任者 1 名 (常勤兼務)
- 世話人 1 名
- 生活支援員 2 名

5・年間行事報告

- 4 月 お花見 (佐久間ダム)
- 5 月 こいのぼり見学・ドライブ
(戸面原ダム・市民の森)
- 7 月 七夕会
- 8 月 ミニ花火大会、そうめん流し
- 9 月 敬老会

6・利用定員 6 名

7・利用料金

- 保証金 (入居一時金) 200,000 円
- 管理費
- 家賃 月額 30,000 円～37,000 円
- 水道光熱費 月額 15,000 円
- 食費 日額 1,700 円 (朝食、昼食、夕食各 500 円、おやつ 200 円)
- 日用品 月額 2,000 円

8・事業報告

利用者の区分 (平均区分 4)

区分	男	女
3	1	
4	4	
5	1	

利用者の年齢(平均年齢 64.5 才)

56 才～60 才	1 名
61 才～65 才	4 名
66 才～70 才	2 名

平成 25 年 3 月 31 日現在

＜特別養護法人ホーム竜神苑＞

1.事業報告概要

平成24年度は前半、利用者の健康状態も安定していたが、後半にかけて体調を崩し入退院を繰り返しそのまま療養型というケースや、今年に入ってからは、介護職員が安定せず、新規入所を控えたこともあり、満床の継続には至らなかった。

また、ノロウイルス、インフルエンザに備え、昨年末より、強い感染ウイルスにも効果的と言われる次亜塩素酸水除菌剤による、施設内厨房等の除菌を徹底し感染予防の強化を図り防止に努めた。

東日本大震災の教訓から、昨年度には予算の関係もあり準備できなかった、ポータブル発電機・災害時用保存食の購入、各ユニット非常口への避難用スロープ取り付けなど、非常時の対策強化を行った。

2.実施状況

①サービス内容

- ・ 利用者ひとりひとりに沿ったケアプランの作成
- ・ 家族・地域・ボランティア団体との交流を図り地域社会への繋がりを深める。
(24年度から、新たに月一度の傾聴ボランティアを受け入れる)
- ・ 医療機関との連携により、日常生活の健康管理を十分に行う。
- ・ 身体拘束・虐待防止に努める。
- ・ 災害時・緊急時における対策の強化を図る。
- ・ 職員の資質及び知識・技術向上の為の研修を行う。
- ・ 運営推進会議の開催。(7月・10月・2月)

②年間行事

- ・ 4月 いちご狩り
- ・ 5月 苑庭のつつじ観賞/誕生会(昼食お弁当)
- ・ 7月 歌と三味線鑑賞
- ・ 8月 力士と懇親会(出羽海部屋) / 誕生会
- ・ 8月 力士との懇親会・誕生会
- ・ 8月 納涼祭(舞踊ショー・三味線)
- ・ 9月 敬老会・誕生会
- ・ 9月 東庄町下座連(鳴り物)鑑賞
- ・ 10月 秋の運動会
- ・ 11月 東庄町文化祭見学
- ・ 12月 クリスマス会 / 誕生会/車椅子ダンス
- ・ 2月 節分

- ・ 3月 ひなまつり
- *その他 5月 菖蒲湯 12月 柚子湯

③地域交流（ボランティア含む）

- ・ 笹川 出羽海力士との懇親会
- ・ 東庄町神代保育園園児
- ・ 東庄町東今泉 下座連「鳴和会」
- ・ 東庄町文化祭見学

④防災訓練

24年度は年3回を計画したが、実際には9月と3月の実施となる。

⑤職員配置

施設長	1名	栄養士	2名（1名パート）
介護支援専門員	1名	調理員	2名
生活相談員	1名（兼務）	事務員	1名
看護師	2名（1名パート）	用務員	2名（パート）
介護職員	15名（4名パート）		

⑥職員研修

施設内研修

- 4月 法人理念について
- 5月 緊急時の対応・発電機の使用法について
- 6月 食中毒について
- 7月 身体拘束・虐待防止について
- 8月 熱中症について
- 9月 事故防止・緊急時の対応について
- 10月 感染予防について
- 11月 褥瘡予防について
- 12月 環境整備について
- 1月 接遇について
- 2月 ユニットケアについて・認知症について
- 3月 ユニットケアについて・災害時の対応について

社外研修

- ユニットリーダー研修受講/千葉県高齢者権利擁護・身体拘束廃止研修（基礎課程）
- 千葉県高齢者権利擁護・身体拘束廃止研修（専門課程）/地域連携を考える研修セミナー

定時会議

- 職員会議/各部署会議/ユニットリーダー会議・ユニット会議

<特別養護老人ホーム広尾苑>

1.事業報告概要

<特別養護老人ホーム>

年間を通じてほぼ満床で過ごすことができたため安定した運営ができた。24年度は職員の定着率と介護力の向上をめざしてきた。定着率はかなりあがったが、介護力の向上はまだ課題が残る1年となった。資格取得を目指し、勤務しながら試験や講習を受ける職員が増えてきたので、苑としてできる範囲でバックアップしながら職員の資質の向上を図りたい。

<ショートステイ>

徐々に固定の利用者をつかみつつあったところで、11月にノロウイルスの感染が出てしまい12月末までショートステイの受入れができなかった。1月より再開したものの、他施設へ流れた方が多く利用者を増やすことはできなかった。

2.実施状況

<特老・ショート共通>

①年間行事

4月	お花見
5月	お散歩（バラ園）
6月	カラオケ大会
7月	七夕会
8月	カラオケ大会
9月	敬老会
10月	運動会見学 ハロウィンパーティ
11月	音楽会（ギター演奏と合唱）
12月	クリスマス会
1月	カラオケ大会
2月	豆まき
3月	お花見散歩

②消防訓練

5月25日	総合訓練（日中想定）
2月16日	総合訓練（夜間想定）・地震体験
3月22日	部分訓練（消火訓練・避難誘導）

③職員研修

施設内研修

- 4月 法人の理念と認知症ケアについて
- 5月 認知症の症状と種類
- 6月 心臓マッサージとAEDの取扱
- 7月 ヒヤリハットと事故報告書について
- 8月 熱中症について
- 9月 嚥下障害と誤嚥性肺炎
- 10月 報告・連絡・相談の基本
- 12月 感染症予防対策
- 1月 身体拘束と高齢者虐待について
- 2月 高齢者の特徴
- 3月 高齢者の虐待について

施設外研修

- 6月 「口腔機能維持管理体制加算」算定の係る研修会
- 8月 千葉県高齢者権利擁護・身体拘束廃止研修（基礎過程）
- 9月 介護保険改定について
- 11月 心を錆びさせない生き方
ユニットリーダー研修
- 2月 「食べること」を通して「生きることを支える」

④職員配置

施設長	1名	介護支援専門員	1名
相談員	1名	事務員	1名
看護師	3名	介護員	26名
栄養士	2名	調理員	5名
用務員	2名		計 42名

＜グループホーム請西苑＞

1.事業報告概要

グループホームは24年3月にオープンし、3月に3名、4月に4名、5月に2名入居し、オープン3か月後の5月には定員の9床が満床になりました。入居者の安全確保のため、薬丸病院を協力病院とし、隔週木曜日に回診を行い、認知症や高血圧等の疾患を患っている方に対する看護体制を整備しました。また、協力歯科を渡辺歯科とし、入れ歯の不具合等を心配する方に対する体制を整備しました。職員はヘルパー2級等の資格を有し、日中3名、夜勤1名の体制で支援しました。

2.実施状況

① 年間行事

- 4月 清見台中央公園の花見、袖ヶ浦公園へ散歩
- 5月 小櫃川河川敷の鯉のぼり観賞、請西南公園へ散歩、藤井陶器ガーデンセンターへ買物
- 6月 誕生日会、とんでんでの外食
- 7月 七夕会
- 8月 夏祭り：昼におやつ作り、夕食後に花火大会
- 9月 誕生日会、敬老会
- 10月 運動会、誕生日会、東京湾観音へドライブ、ハロウィンで学童の子供たちと交流
- 11月 紅葉見学、とんでんでの外食
- 12月 誕生日会、クリスマス会
- 1月 東京観音で初詣、親睦会
- 2月 節分
- 3月 誕生日会、ひな祭り、いちご狩り、藤井陶器ガーデンセンターへ買物

② 防火訓練

- 10月29日 消火訓練・通報訓練・避難訓練（夜間想定、消防署立会い）
- 3月7日 通報訓練・避難訓練（日中想定）

③ 定時行事

- ・全職会議
- ・職員診断、インフルエンザ予防接種
- ・勉強会、研修
- ・各部署内会議
- ・運営推進会議

④ 職員配置

- 管理者 1名
- 計画作成担当者 1名（介護支援専門員、介護職員と兼務）
- 介護職員 6名
- 計 8名

⑤ 学童との交流

10月のハロウィンで学童の子供たちと交流をした。

<請西苑デイサービスセンター>

1.事業報告概要

デイサービスは24年3月にオープンしましたが、オープン当初から稼働率が低い状態が続きました。しかし、24年度第4四半期から稼働率がアップし、来期に向けての基盤を構築しつつあります。

2.実施状況

① 年間行事

- 4月 袖ヶ浦公園の花見
- 5月 小櫃川河川敷の鯉のぼり観賞
- 6月 高倉観音のあじさい見学
- 7月 七夕会
- 8月 夏祭り：流しそうめん
- 9月 敬老会
- 10月 袖ヶ浦公園の散策、ハロウィンで学童の子供たちと交流
- 11月 志駒もみじロードで紅葉狩り
- 12月 クリスマス会
- 1月 東京観音で初詣
- 2月 節分
- 3月 大道芸人の演芸、内箕輪運動公園で花見

② 防火訓練

- 10月29日 消火訓練・通報訓練・避難訓練（夜間想定、消防署立会い）
- 3月7日 通報訓練・避難訓練（日中想定）

③ 定時行事

- ・全職会議
- ・各部署内会議
- ・職員診断、インフルエンザ予防接種
- ・勉強会、研修

④ 学童との交流

- 10月のハロウィンで学童の子供たちと交流をした。
- また、日々の活動で学童の子供たちとの交流がある。

<特別養護老人ホーム請西苑>

1.事業報告概要

特別養護老人ホームは24年9月1日にオープンし、9月に10名、10月に8名、11月に5名、12月に5名、1月3日に1名入所し、オープン後約4か月で定員の29床が満床になりました。入所者の安全確保のため、薬丸病院を協力病院とし、隔週木曜日に回診を行い、認知症や高血圧等の疾患を患っている方に対する看護体制を整備しました。また、協力歯科を渡辺歯科とし、入れ歯の不具合等を心配する方に対する体制を整備しました。職員は介護福祉士、ヘルパー2級等の資格を有し、日中は看護師を含め8名、夜勤2名の体制を基本に支援しました。

2.実施状況

① 年間行事

- 9月 敬老会、誕生日会、厚生労働大臣より入所者100歳の表彰
- 10月 ハロウィンで学童の子供たちと交流
- 11月 カラオケ大会
- 12月 誕生日会、クリスマス会
- 1月 誕生日会
- 2月 節分
- 3月 誕生日会、ひな祭り

② 防火訓練

- 10月29日 消火訓練・通報訓練・避難訓練（夜間想定、消防署立会い）
- 3月7日 通報訓練・避難訓練（日中想定）

③ 定時行事

- ・全職会議
- ・各部署内会議
- ・職員診断、インフルエンザ予防接種
- ・運営推進会議
- ・勉強会、研修

④ 職員配置

施設長	1名	介護支援専門員	1名
生活相談員	1名	看護職員	1名
栄養士	1名	介護職員	16名
調理員	4名	事務員	1名
用務員	1名	計	27名

⑤ その他

- ・8月に特別養護老人ホームの施設完成内覧会を開き、また、オープン前基礎研修として、認知症高齢者の基本・高齢者虐待・身体拘束等の確認、エアマットでの褥瘡予防・防止・体位交換研修、特別浴槽・リフト浴槽の入浴研修、福祉用具・車いす・AEDの取扱研修等を行った。
- ・2月8日にノロウィルスが発生した。即日ノロウィルスの発生を市役所、保健所に報告をし、

保健所の指示に従い対応策を実施した。1月に苑内で開催したノロウイルス感染対応会議で作成した対策マニュアルに沿って対応し、また、同会議で用意したバケツ、使い捨てエプロン・手袋・ゴミ袋等の感染症対策セットを使用した。ノロウイルス発生に伴い、家族の面会制限をした。最終的に、入所者2名、職員2名の感染が確認され、その他、入所者3名の下痢症状が確認された。2月27日に保健所からノロウイルスの収束宣言が出され、家族の面会制限を解除した。

- ・10月のハロウィンで学童の子供たちと交流をした。

[みらい保育園]

1.事業報告概要

24年度は、大きな怪我や事故又は苦情も無く、各年齢の発達を踏まえた活動環境を整える事で子どもが主体となって参加することが出来、自己肯定感を育む保育を展開することができた。また、地域社会や保護者と子育てを共有する為の「和」をテーマに、人とのつながりを大切にした「コミュニケーション能力」と「人間力」を育む為の様々な行事に取り組み、子どもの日々の成長を喜び合う関係が築けた。

2.実施状況

① みらい保育園基本方針

《やさしさ》・《おもいやり》・《あたたかさ》を育み、人間力の向上を図る。

現在、失われつつある人間の基礎的な生きるための学びを教え、子どもの意志を尊重し、『させたい』ではなく『やりたい』を大切にした保育を心がけるようにする。そして、「相手」が居て初めて「自分」が居るという人間社会の基礎が学べるよう支援する。

「事業共通事項」

- 「遊び」の中から様々な生活習慣や文化を獲得する。
- 異年齢児や職員・保護者・地域の人々との関わりを通して、人間が成長し、地域社会で生きていく上で必要な「人と人とのつながり」の大切さを学ぶ。
- 保護者との連携を取り、保育にあたるという「共に育む」という意味での共育を理解できるよう、保護者自身の支援を行う。
- 苦情受付・解決方法の具現化を図る。全職員において、統一した対応方法の理解を徹底する。
- 防災・不審者・機密書類に対する意識向上を図る。

② 保育事業

A 通常保育事業（月～土 7時～20時実施）

・定員

0歳児＝9名

1歳児＝18名

2歳児＝23名

3～5歳児 縦割保育70名 計120名

B 特定保育事業（月～土 8時～18時実施 就労者・1日定員10名

C 一時保育（月～土 8時～17時実施 土曜は午前のみ）・1日5名

D 休日保育事業（日曜日・祝日 7時～19時実施）・1日10名程度

E 子育て支援室（火・木 10時～12時30分実施）

F 地域交流・施設間交流・園内見学・運動会招待・体験学習受け入れ

・ボランティア受け入れ・近隣施設行事への参加

G 地域支援 放課後保育（下校から18時と長期休暇8時～18時）

③ 厨房部門

A 食育活動の強化

○生涯にわたって健康で質の高い生活を送る資本としての「食を営む力」の基礎を培う

B 衛生管理の徹底

感染症等の発生を防ぐ為、職員の健康管理の徹底と厨房内の食品の取扱いと清掃を徹底する
(職員も給食を食べるようになってからは病欠が減った)

C アレルギー対応の徹底

*アレルギー対応マニュアルを基に各部署での声かけとチェックの徹底を複数で確認し合う。

④ 看護部門：児童・職員の健康管理体制の強化

職員

*毎年2回のぎょう虫検査と毎月2回の検便検査実施

*定期健康診断・インフルエンザ予防接種の実施

*感染症マニュアル・緊急時対応マニュアルに基づく研修及び指導の実施

*「AEDの設置」救急救命指導強化＝見える場所への設置

児童

*内科健診年2回 *歯科検診年1回 *歯磨き指導*ぎょう虫検査年2回

*身体測定毎月1回*尿検査年1回 *交通安全指導年1回

⑤ 年間行事

4月	はじめましての会 誕生会(毎月)	8月	お泊り保育「年長児」 バーベキュー	12月	クリスマス会 幼少関連交流会
5月	端午の節句・芋苗植え 試食懇談会	9月	お月見 敬老会との交流	1月	餅つき会 アンサンブルコンサート
6月	灯籠作り・歯磨き指導 カレーパーティ	10月	運動会・芋掘り遠足 ハロウィン・焼き芋会	2月	節分 卒園遠足
7月	七夕・プール開き 夕涼み会・すいか割り	11月	芋煮会・上野動物園 バス遠足(以上児) 試食懇談会(個人面談)	3月	雛祭・お別れ会 卒園式 マラソン大会

⑥ 職員配置

職種	配置人員	職種	配置人員
園長	1名	事務員	1名
副園長	1名	栄養士	1名
主任保育士	1名	調理師	1名
看護師	1名	パート調理員	3名
保育士	16名	嘱託医(内科・歯科)	2名
短時間保育士	10人		
パート保育職員	7人	職員合計	44名
用務員	1名		

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	一時特定	子育て支援室	休日保育
3対1	5対1	5対1	15対1	25対1	30対1	15対3	5組 +12人	10人
児童 14名	児童 20名	児童 25名	児童 27名	児童 24名	児童 22名	1日15 名	地域支援 小学生	早・遅 4名
4名+看	4名	5名	縦割り	4名	(障)1	3名	1名	4名

⑦施設管理

① 安全対策及び防災計画

- 防災・不審者・機密書類に対する意識向上を図る。
 - ・月に一度の避難訓練を実施する。
 - ・大地震・津波の際には打瀬中学校の体育館三階へ避難する。
 - ・緊急マニュアルに基づいて対応できるように周知徹底する。
 - ・初期消火訓練を含めた、最低年一回の防災訓練を実施する。
 - ・災害時用に水及び食料の備蓄と毛布等の防寒対策を実施する。
 - ・園外保育(散歩など)の際は、災害・防犯用携帯電話を携行し緊急時に対応できるようにする。
 - ・23年1月末より「セコム」によるセキュリティシステム導入に伴い益々の意識の向上を図る。
 - ・園の土地が海拔3・5メートルである事を知らせる。

② 施設内研修・会議等

- 毎月の会議＝定例職員会議・厨房会議・クラス担当リーダー会議を行う。
- ◎必要に応じて園内研修・施設内研修を行なう。

③ 苦情解決体制

社会福祉法内 82 条、社会福祉法人天佑会「福祉サービスに関する苦情解決体制要綱第条」ご利用者様からの苦情・意見・相談・要望に適切に対応する体制を整えております。

事業者におけるご相談等については、苦情解決責任者、苦情受付担当者・苦情対応委員会及び第三者委員を置き、御利用者からの相談等に対応します。

尚、苦情発生の際には「みらい保育園苦情対応フローチャート」に基づき対応する。

④ 職員研修

4月	一般新人研修（法人の概要と自分の果たす役割）
5月	0歳児の保育を行う上で多様な知識を身に付ける
	障がい児保育の基本
6月	子どもの権利や子育てシステムについて知る
	上手に食べる・食べさせる
	赤ちゃんの誕生から始まる効果的な家庭訪問による子育て支援
7月	保育を楽しむパネルシアター

	離乳食作りの向上を図る
	3・4・5歳児のつながり遊びを学ぶ
8月	手作りおもちゃであそぼう講座
	0・1・2歳児のつながり遊びを学ぶ
9月	食物アレルギーについて
10月	一般新人研修（法人の概要と自分の果たす役割）
11月	つながる保育・伝わる保育
	乳児保育の危機を超えて
	保育所・障がい児保育担当者研修会
12月	保育に生かす記録の書き方、評価の仕方
	保育に生かす記録の書き方、評価の仕方
1月	ひもで遊ぶ公開保育施設内研修
	栄養士研修アレルギー対応
2月	AEDを使った心肺蘇生
	園内研修 AEDを使った心肺蘇生
	保育所長集中講座～全国社会福祉協議会主催 「スーパービジョン～新背戸における職員の資格（保育教諭等）について～ 「保育と子育て支援のプログラム開発」
	「配慮が必要な子どもと親への支援の実践」 「地域社会資源ネットワークⅠ・Ⅱ」 「保育所と地域のふれあいづくり、町づくり」
	「子育て支援の総合的な拠点としての保育所」 「これからの保育所のあり方を考える ～子ども・子育て関連3法をふまえて～」
	保育園における食物アレルギーの対応について
3月	予防接種ワクチンについて・エピペンの対応について
	幼児期の運動案内法

〔広尾みらい保育園〕

1. 事業報告概要

24年度は途中退職する職員が数名いたが、職員も定着しつつあり、ほぼ年度始めから定員以上の児童を受け入れることができた。

また一時保育事業・子育て支援センター事業については、昨年度は年度途中からの事業開始となっていたが、今年度は年度始めからの開始となり、一時保育事業では、延べ利用人数が千人以上となり、子育て支援センター事業では利用人数が6千人を超える事ができ、地域のニーズに応える事ができた。

2. 実施状況

①基本方針

「やさしさ」「おもいやり」「あたたかさ」を育み、人間力（人間性＝生きる力）の向上を図る。

- ・目から入ってくるインスピレーションに対して、五感で反応し支援をするという「自己判断・行動力」（やさしさ）
- ・どのようにすれば問題を解決できるか、相手の立場に立って最善の方法を考えるとという「想像力」（おもいやり）
- ・温かい声かけ・温かい支援等、心のこもった言動がとれるという「対人コミュニケーション」（あたたかさ）

※上記の三つの要素を育み、人間にとって何が一番大切か、また、子どもたちが大人になった時に「自分さえよければ」「自分がいて相手がいる。」ではなく、「相手がいて自分がいる」という考えのもと、『自ら考え、創造（想像）し、目標や目的を実現する力・人間力＝生きる力』が身に着くよう導き、保育を実地。

○通常保育 月～金 7:00～20:00 土曜 7:00～18:00

年末休日保育 12/29～30 8:00～17:00

*休日保育以外は、延長保育時間を含む。

○一時保育 月～金 9:00～17:00

- 一時的に保育が困難（通院・通学等）な方
- 育児中のリフレッシュを必要とされる方
- 認可保育園の入園基準に満たない、概ね月64時間以上の就労の方等々の理由にて児童を受け入れ。

○子育て支援センター・結 月～金 9:30～12:30 13:30～16:00

- 「子育て相談」に対するアドバイス。
- 親子で自由に遊べる（過ごせる）場の提供。
- 母親（父親）同士が自由に話し合える場の提供
- 毎月行事（試食会・親子クッキング・製作等）の企画をし、参加利用して頂く。

②年間行事 ＊防災訓練は、毎月1回実施。

4月	はじめましての会	10月	芋掘り遠足（5歳児）
5月	クラス懇談会 芋の苗植え（5歳児） お散歩遠足（2～4歳児）		ハロウィーン
6月	内科健診，歯科検診	11月	内科検診
7月	プール開き 夕涼み会	12月	クリスマス会
8月	お泊り保育（5歳児）	1月	もちつき会
9月	プール納め 敬老の日	2月	節分・豆まき会 クラス懇談会 卒園遠足（5歳児）
		3月	お別れ会 卒園式

③クラス編成 及び 職員配置 ＊平成25年3月現在

つぼみ組（0歳児）	12名（定員10名）	職員5名
なごみ組（1歳児）	17名（定員16名）	職員3名
のぞみ組（2歳児）	16名（定員16名）	職員3名
ひかり組（3～5歳児）	19名（定員16名）	職員1名
つばさ組（3～5歳児）	19名（定員16名）	職員1名
そら組（3～5歳児）	19名（定員16名）	職員1名
ゆめ組（一時保育）	1,285名（累計利用人数）	職員3名
子育て支援センター『結』	6,494名（累計利用人数）	職員2名

※3歳未満児クラス及び3歳以上児クラスには、フリー保育士・フリー保育補助を配置し、職員の公休代替等の対応にあたった。

④職員構成

園長	1名	副園長	1名	主任保育士	1名	保育士	18名（パート5名含む）
保育補助	3名	子育て支援センター	3名	（保育士1名、パート保育士1名、支援職員1名）			
看護師	1名	栄養士	1名	調理員	3名	用務員	2名

⑤その他

引き続き、職員の定着は課題であるが、在籍している職員の質（保育技術等）の向上が今後の課題になると思われる。

[木更津みらい学舎]

1.事業報告概要

新年度当初15名の児童でスタートしたが利用申込みが増え、年度末には23名になった。

その為、補助金増額申請を木更津市に提出し、864,000円増額となり、当初予算収入の見込み額が大幅に増えた。

未就学児童に対しても引き続き市内の幼稚園と提携し受け入れを行った。

同敷地内9月に特別養護老人ホームが開苑し、子ども達の老人に対する意識が変わり、積極的に関ろうとしていたが、冬場になっていくにつれて、インフルエンザ・ノロウイルス等の感染問題もあり、今期は交流が出来なく新年度の検討課題が残る。

2.実施状況

・行事

- 4月 新入生歓迎会
- 5月 子どもの日の祝い
- 6月 お楽しみ会
- 7月 七夕・プール開き
- 8月 バーベキュー・日帰り遠足
- 9月 敬老会・お誕生会
- 10月 ハロウィン・お誕生会
- 11月 芋煮会・お誕生会
- 12月 クリスマス会・お誕生会
- 1月 初詣・餅つき・お誕生会
- 2月 豆まき・お誕生会
- 3月 ひな祭り・お誕生会

・職員配置

運営責任者	常勤	1名
学童指導員	非常勤	3名